

たいよう

発行所
大洋基礎工業株
たいよう新聞委員会

最前線レポート

新規事業「太陽光発電システム」販売と設置工事

システム概略・概要

・太陽電池容量 二・二四 kW

・太陽電池モジュール

型 N D - 160 A V

(公称最大出力一六〇 W)

年間予測発電量

一枚数一四枚
二五二〇 kW/h

古屋地区の場合で計算されて

います。)

・パワーコンディショナ
型 J H - S 9 Y 2

(定格出力三 kW) 台数一台

※パワーコンディショナとは、

太陽電池モジュールから出力さ

れる「直流」を家庭内で使用で

きる「交流」に電気を変換する

インバータ機器です。

・「発電量」などを確認できる

電力モニタ

型 J H - R C M 1 台数一台

※太陽電池モジュールを取り付け

る架台式などで構成していま

す。

施 主
佐々木四子男様

設置場所
愛知県稲沢市平和町

設置工事日
平成二十二年三月十六日
～十七日 二日間

電力会社との連絡日
三月二十四日(連絡により太

いよいよ設置工事ということ

になりましたが、工事初日の天

気は雨でした。屋根が濡れてい

ては足が滑り作業が危険なため、

選定いたしました。

二日目の作業は前日に墨出し

しました箇所に金具を取り付け、そこ

に一本一本チャネルを固定し、

それぞのチャネルをジョイン

していく、架台を組み上げ太

上場会社が大会社に該当していますが、当社のように、大会社でないため両機関を設置していない上場会社も相当数あります。

この制度上の不均衡を是正し、大会社に該当しない上場会社にすべての上場会社に両機関を設置することを求めました。

当社は、先月三月十五日に第

四十三期決算短信と業績予測値

の上方修正を発表しました。

一旦は中間決算公表時におい

て、年初の利益予測値の下方修

正を余議なくされましたが、下

半期に入り、全社一丸となつた

懸命な経営努力が奏功し、冒頭

のような発表となりました。

私は第四十二期より社外監査

役を務めさせていたのでおり

ますが、これまでの二年間、上

場会社の監査役としてどうある

べきか、また会社とはどのように

距離を保つて臨むことがベス

トなのか試行錯誤してきました。

お蔭さまで、当社の取締役の皆

さんをはじめ関係部署のご協力

を得て、なんとか無事経過する

ことができました。

お蔭さまで、当社の取締役の皆

さんは、大会社(資本金五

億円以上又は負債総額二〇〇億

円以上の会社)に、会計監査人

と監査役会の二つの機関を設置

することを義務付けていますが、

多くのステークホルダー(利害

関係者)が存在します。

特に一般投資家は投資の判断

を、会社が発信する情報に依ら

るを得ません。この情報に誤

謬や操作や虚偽がないこと、ま

たインサイダー取引(内部者の

事前情報入手による不公正な取

引)を排除することなど、株式

市場を守り発展させるため多く

の上場規制を設けています。

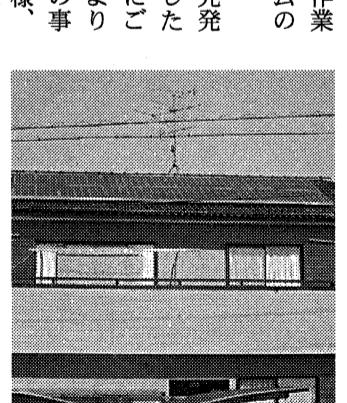
当社の沿革によれば昭和四十

八年、二〇〇三年十四位、二〇

六年十六位と下がり続け、日

本の無回答率が際立つて高いと、

中日新聞、紙づぶで記してい



監査役 一柳 守央

置を任意としています。大半の上場会社が大会社に該当していますが、当社のように、大会社でないため両機関を設置していない上場会社も相当数あります。

この制度上の不均衡を是正し、大会社に該当しない上場会社にすべての上場会社に両機関を設置することを求めました。

当社は、先月三月十五日に第

四十三期決算短信と業績予測値

の上方修正を発表しました。

一旦は中間決算公表時におい

て、年初の利益予測値の下方修

正を余議なくされましたが、下

半期に入り、全社一丸となつた

懸命な経営努力が奏功し、冒頭

のような発表となりました。

私は第四十二期より社外監査

役を務めさせていたのでおり

ますが、これまでの二年間、上

場会社の監査役としてどうある

べきか、また会社とはどのように

距離を保つて臨むことがベス

トのか試行錯誤してきました。

お蔭さまで、当社の取締役の皆

さんは、大会社(資本金五

億円以上又は負債総額二〇〇億

円以上の会社)に、会計監査人

と監査役会の二つの機関を設置

することを義務付けていますが、

多くのステークホルダー(利害

関係者)が存在します。

特に一般投資家は投資の判断

を、会社が発信する情報に依ら

るを得ません。この情報に誤

謬や操作や虚偽がないこと、ま

たインサイダー取引(内部者の

事前情報入手による不公正な取

引)を排除することなど、株式

市場を守り発展させるため多く

の上場規制を設けています。

当社の沿革によれば昭和四十

八年、二〇〇三年十四位、二〇

六年十六位と下がり続け、日

本の無回答率が際立つて高いと、

中日新聞、紙づぶで記してい

ます。私もたいとう新聞に経

営方針等を掲載しても伝わって

いるのか不安を感じる事も多々

有り、調査結果が領ける思いで

ます。私もたいとう新聞に経

